

# 求職者支援訓練に関する 特例措置の実施状況

# 求職者支援訓練に関する特例措置等の活用実績

## 求職者支援訓練の設定状況等

求職者支援訓練 計	設定コース数	設定定員数	受講者数	うち介護分野	設定コース数	設定定員数	受講者数
令和2年度	2,247	35,262	18,680	令和2年度	261	4,240	1,714
令和3年度	2,776	44,810	22,140	令和3年度	320	5,190	1,896
対前年度比	123.5%	127.1%	118.5%	対前年度比	122.6%	122.4%	111.0%

※ 令和2年度実績は令和2年4月から令和3年1月までに、令和3年度実績は令和3年4月から令和4年1月までに設定または開始したコースについて集計

## 短期間・短時間特例訓練の実施状況

求職者支援訓練 計	設定コース数		設定定員数		受講者数	
	数	割合	数	割合	数	割合
求職者支援訓練 計	2,776		44,810		22,140	
短期間・短時間コース	741	100.0% (26.7%)	11,883	100.0% (26.5%)	4,094	100.0% (18.5%)
短期間・短時間 (a)	337	45.5%	5,011	42.2%	1,291	31.5%
短期間 (b)	125	16.9%	1,895	15.9%	663	16.2%
短時間 (c)	279	37.7%	4,977	41.9%	2,140	52.3%
短期間コース内訳 (a + b)	462	100.0%	6,906	100.0%	1,954	100.0%
2週間～1か月	83	18.0%	1,199	17.4%	361	18.5%
1か月～2か月	126	27.3%	1,810	26.2%	415	21.2%
2か月～3か月	253	54.8%	3,897	56.4%	1,178	60.3%
短時間コース内訳 (a + c)	616	100.0%	9,988	100.0%	3,431	100.0%
60～80時間	455	73.9%	7,593	76.0%	2,571	74.9%
80～100時間	161	26.1%	2,395	24.0%	860	25.1%

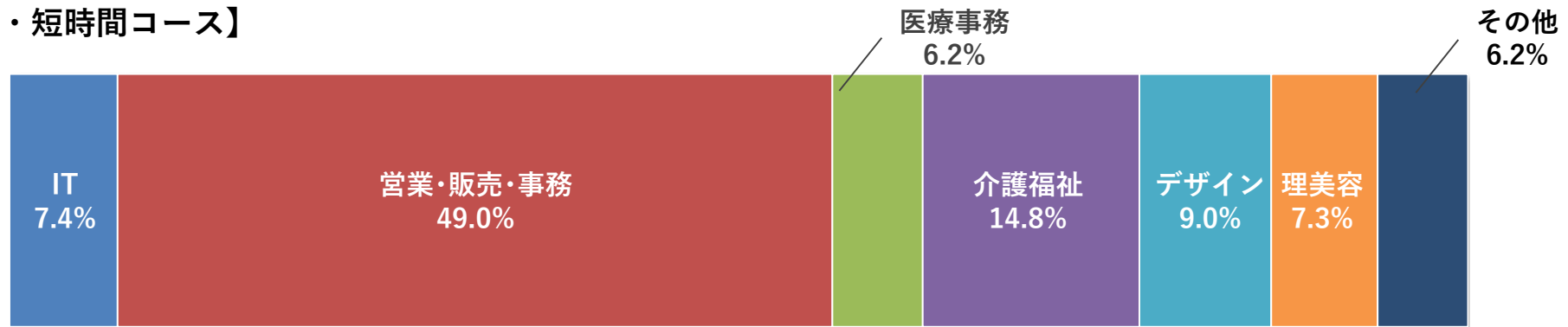
※ 令和3年4月から令和4年1月までに開始したコースについて集計

※ 括弧内の割合は、求職者支援訓練全体に占める短期間・短時間コースの割合

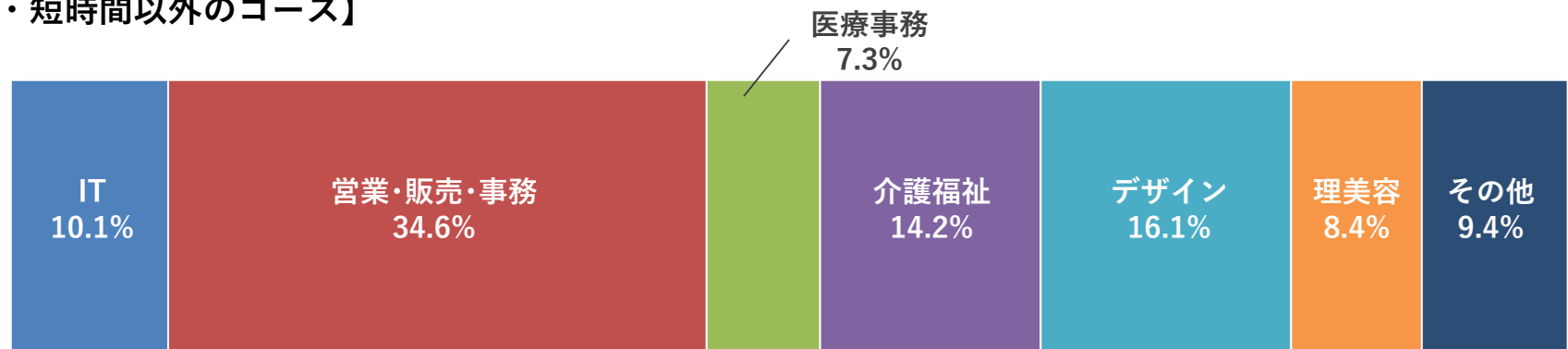
# 短期間・短時間特例訓練の分野別コース設定状況

短期・短時間コースとそれ以外の訓練コースについて、分野別の設定状況を比較すると、営業・販売・事務分野の訓練は、短期間・短時間コースにおいて、設定割合が高い状況にある。その要因としては、当該分野の訓練には、初歩的なパソコンスキルを学ぶものもあり、より短期間・短時間でスキルを習得することも可能であることが考えられる。一方、専門性が高いと思われるITやデザイン分野などでは、短期間・短時間以外のコースの方が、設定割合が高い状況にある。

## 【短期間・短時間コース】



## 【短期間・短時間以外のコース】



※ 令和3年4月から令和4年1月までに開始するコースの認定コース数に基づき集計（短期間・短時間コース：741コース、短期間・短時間以外のコース：1,454コース）

### 新型コロナウイルスの影響によりシフト(勤務日や勤務時間)が減少又は離職した方

- (事例1) 飲食店で働いていたが、新型コロナウイルスの影響によりシフトが激減。資格を取得して安定した仕事への転職を希望するも、通常の期間・時間の訓練では仕事との両立が難しかったため、現職との両立が可能な短期間(2週間)の医療事務分野の訓練を受講。総合病院の医療事務員に転職。
- (事例2) 母子家庭で3人の子供を養育。宿泊業で就労していたが、新型コロナウイルスの影響により、ホテルが休業する等したため勤務日数が減少。そうした状況からホテル業界は雇用が不安定であると考え、介護職への転職を希望。働きながら短期間の介護分野の訓練を受講し、介護職員に転職。
- (事例3) 飲食店にてパートで勤務する母子家庭の母。新型コロナウイルスの影響でシフトが減少したことから、安定した事務職(正社員)への転職を希望。しかし、今まで飲食店の接客経験しか無く、事務職に必要なパソコンスキルが無かったため、訓練の受講によりパソコンスキルの習得を目指すことを希望。一方で、子供を保育園に預けていたため、送迎が必要であることから、訓練との両立が可能な短期間・短時間のパソコンスキルを学ぶ訓練を受講し、事務職(正社員)に転職。
- (事例4) これまで、夜の飲食店でアルバイトをしていたが、新型コロナウイルスの影響により仕事が全く無くなり安定した仕事への早期の再就職を希望。事務の仕事も視野に入れ、パソコンスキルを学ぶ短期間の訓練を受講し、同スキルが求められる資材管理業務職(正社員)へ転職。

### 子育て中の方や健康上の配慮が必要な方

- (事例1) 障害のある子供の育児を抱えており、訓練期間及び時間に制約があったため、短期間・短時間でパソコンスキルを学ぶ訓練を受講。一般事務職(パート)として就職。
- (事例2) 就学前の子の養育や定期的な通院があり、フルタイムでの再就職が困難であったため、就職先の可能性を広げるべく、ライフスタイルに合った短期間・短時間のパソコンスキルを学ぶ訓練を受講。パソコンスキルを活かし、在庫管理、出荷業務を担う職場に就職。
- (事例3) 前職の保育士を適応障害のため離職し、事務職での再就職を希望するも、パソコンスキルに自信がなく、また、体調面を考慮して、同スキルを学ぶ短時間の訓練を受講。訓練修了後は、人に物事を教える仕事に興味を沸き、パソコンのサブインストラクターとして再就職。
- (事例4) 疾病の影響で働けない期間が長く、働くことに不安を感じていた。一方で、生活保護を受給しており、早期就職を希望。訓練の受講を通じて社会性を身に付け、資格取得・就職を目指し、体調も踏まえながら短期間・短時間の介護分野の訓練を受講。介護職員(正社員)として就職。